

北陸三県における滞在の特性（ビジネスが主目的で観光も行っている場合）

図 1-41 黒部・宇奈月・魚津エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率



図 1-42 富山市・岩瀬・八尾エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

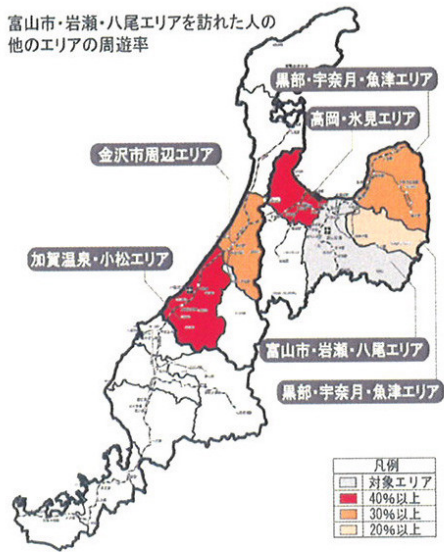


図 1-43 高岡・氷見エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

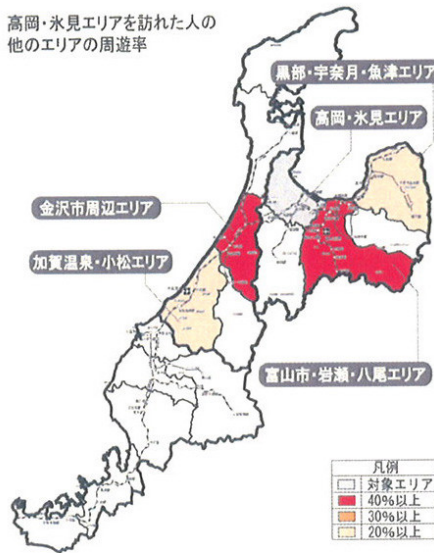


図 1-44 和倉・七尾・羽咋エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

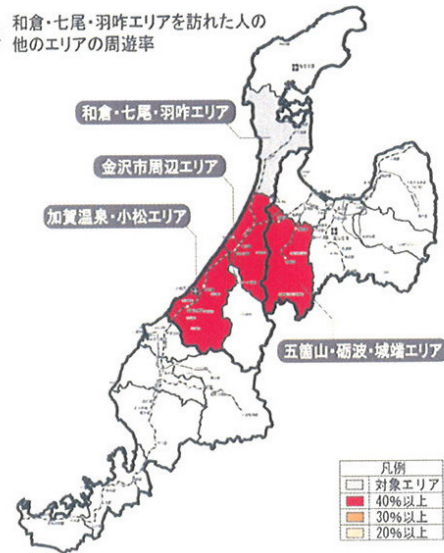


図 1-45 金沢市周辺エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率



図 1-46 加賀温泉・小松エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

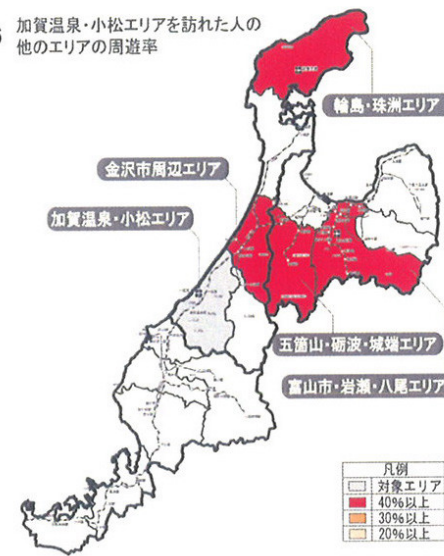


図 1-47 東尋坊・三国・あわら温泉エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

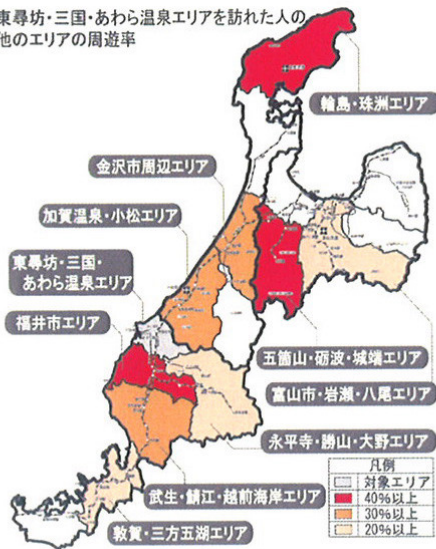


図 1-48 福井市エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

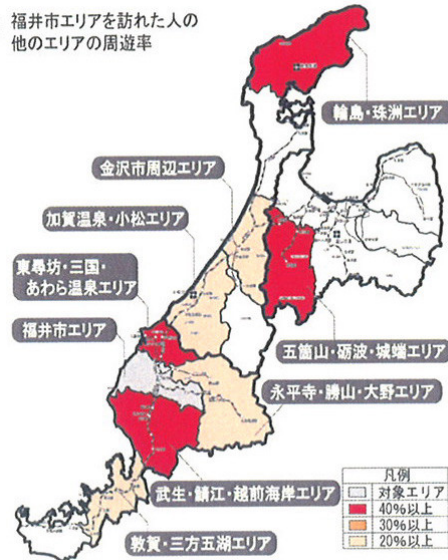


図 1-49 敦賀・三方五湖エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

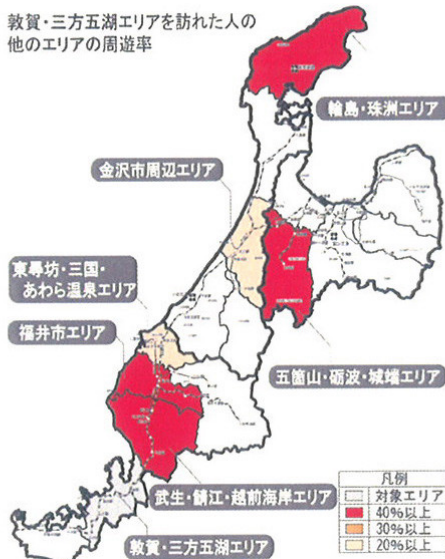
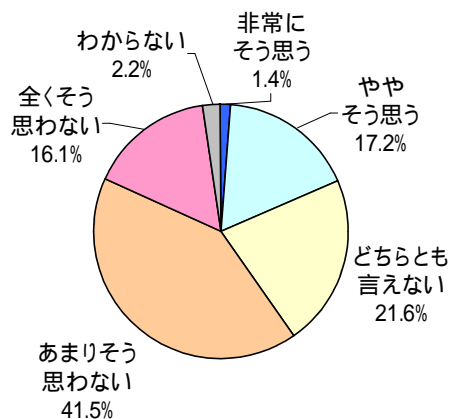


図 1-50 北陸観光に不足しているもの
(旅行者の意向)

- ・交通の不便さ。北陸道に沿って平野部を移動するのならよいが、山間部に行くとなちまち不便になる。
- ・海岸や山間部へのアクセスが不便。
- ・公共交通の利便性。

出所：『平成 19 年度国土施策創発調査 東アジアのゲートウェイとして時代やニーズに対応した北陸型の新しい観光システム構築に関する課題調査』旅行者意向アンケートより

図 1-51 観光情報提供やガイドが少ないと思うか



出所：『平成 19 年度国土施策創発調査 東アジアのゲートウェイとして時代やニーズに対応した北陸型の新しい観光システム構築に関する課題調査』国内旅行者アンケートより

(4) 北陸圏内の人的交流の実態〔宿泊旅行〕(アンケート調査より)

北陸の居住者が、北陸に観光宿泊旅行に出かける割合は年間で51%

- ・北陸の居住者が、北陸に観光目的で宿泊旅行に出かける割合は約半数である。(図 1-52)
- ・ビジネスや私用で北陸内に宿泊旅行に出かける割合は小さい。(図 1-53・54)

北陸の方の宿泊旅行は、1泊2日が大半を占め2泊以上の滞在は少ない

- ・北陸圏域内への宿泊旅行は94%が1泊2日であり、目的地別にみても2泊以上の滞在は少ない。(図 1-56)
- ・交通手段は自動車が多く8割前後を占めるが、金沢市周辺エリア、福井市エリアは鉄道利用もみられる。(図 1-57)

旅行行動は温泉が圧倒的に多く、旅行先に対する満足度は高い。

- ・旅行行動は温泉が64%と圧倒的に多く、次いで名所・旧跡を見る、特産品の買物・飲食、風景鑑賞が多い。温泉を中心に周辺を観光するスタイルであると考えられる。(表 1-2)
- ・旅行先に対する満足度は、満足とやや満足をして68%であり高い。(表 1-2)

旅行旅行の目的地は、金沢市と温泉地が多い

- ・宿泊旅行の目的地としては金沢周辺エリアに加え、和倉・七尾・羽咋エリア、加賀温泉・小松エリア、東尋坊・三国・あわら温泉エリアなどの温泉地が多い。

図 1-52 観光、スポーツ・レジャーにおける宿泊旅行の回数

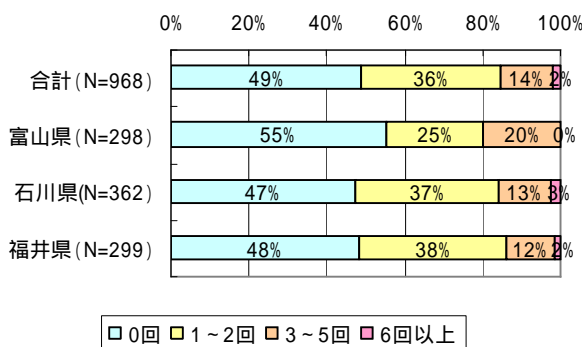


図 1-53 ビジネス出張、コンベンションにおける宿泊旅行の回数

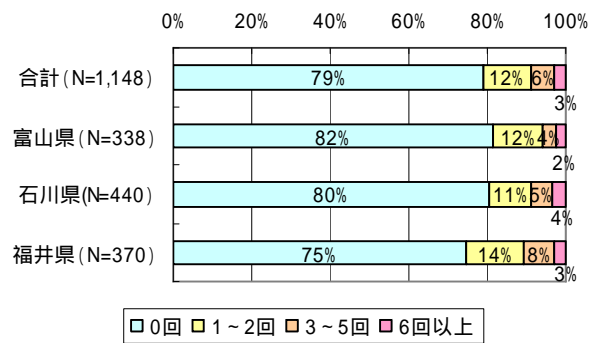


図 1-54 私用における宿泊旅行の回数

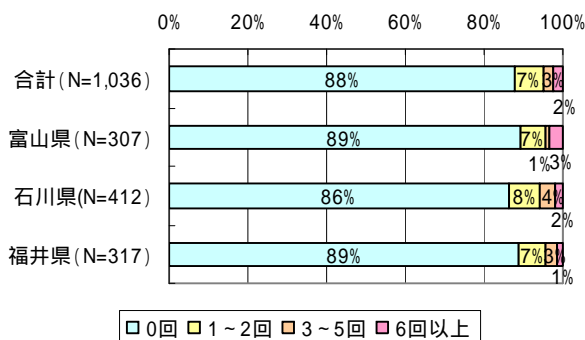


図 1-55 ビジネス出張、コンベンション目的で北陸を訪れた方のうち、観光も行った方の宿泊旅行の回数

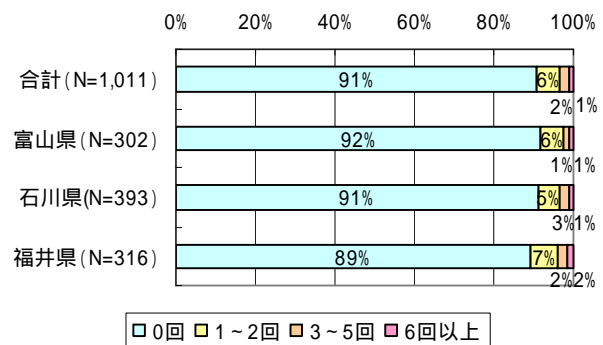


図 1-56 主な目的地の宿泊数

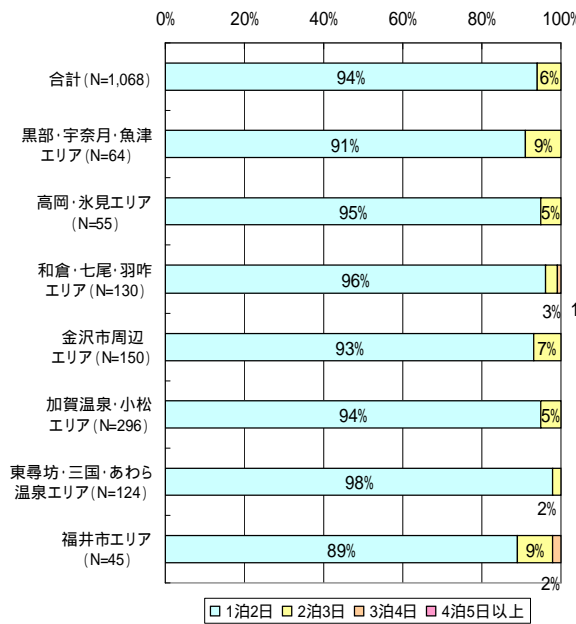


図 1-57 主な目的地の代表交通手段

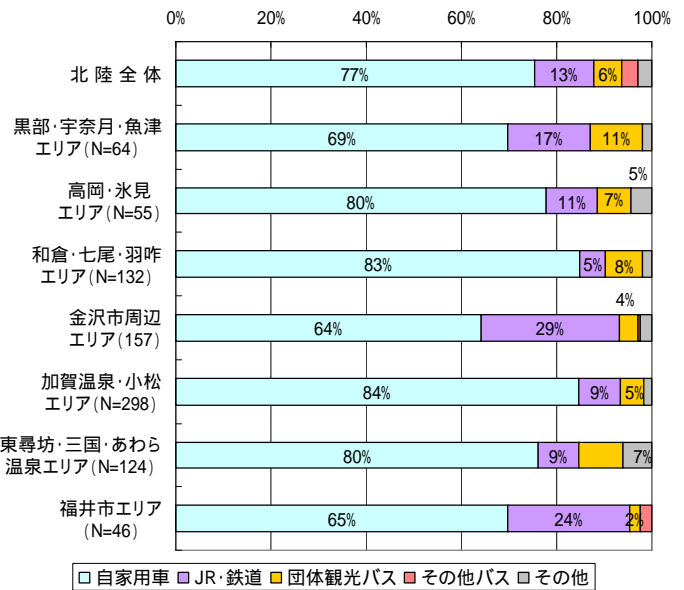


表 1-2 主な目的地の満足度・行動内容（上位3つ）

エリア名	満足度 満足 + やや満足	行動内容					
		1位		2位		3位	
		内容	割合	内容	割合	内容	割合
北陸圏全体	68%	温泉	64%	名所・旧跡を見る	24%	風景鑑賞 特産品の買物・飲食	22%
黒部・宇奈月・魚津エリア (N=64)	86%	温泉	63%	風景鑑賞	42%	名所・旧跡を見る	33%
高岡・氷見エリア (N=55)	75%	温泉	71%	特産品の買物・飲食	25%	風景鑑賞	18%
和倉・七尾・羽咋エリア (N=132)	72%	温泉	71%	特産品の買物・飲食	25%	風景鑑賞	19%
金沢市周辺エリア (N=157)	69%	温泉	42%	名所・旧跡を見る	29%	まち並み散策	24%
加賀温泉・小松エリア (N=298)	68%	温泉	79%	名所・旧跡を見る	20%	風景鑑賞	19%
東尋坊・三国・あわら温泉エリア (N=124)	65%	温泉	80%	名所・旧跡を見る	19%	特産品の買物・飲食	16%
福井市エリア (N=46)	49%	温泉	50%	特産品の買物・飲食	20%	商談・会議	20%

表 1-3 旅行日数ごとの旅行消費額

	宿泊日数			
	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日以上
交通費	4,998	8,071	7,750	17,156
飲食費	4,589	6,993	5,875	5,400
観光行動費	1,235	2,538	1,825	400
おみやげ代	2,994	4,493	3,150	2,200
宿泊費	13,002	13,412	8,000	13,000

各県居住者が北陸三県内で宿泊旅行を行った際の周遊率の高い地域

図 1-58 北陸居住者
全体の宿泊旅行先

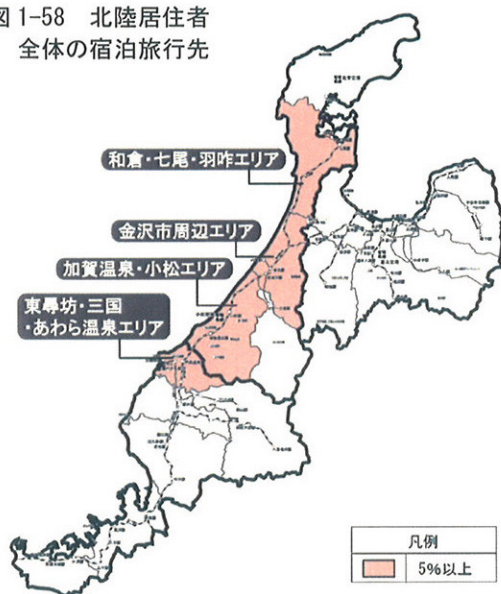


図 1-59 富山県居住者
の宿泊旅行先



図 1-60 石川県居住者
の宿泊旅行先

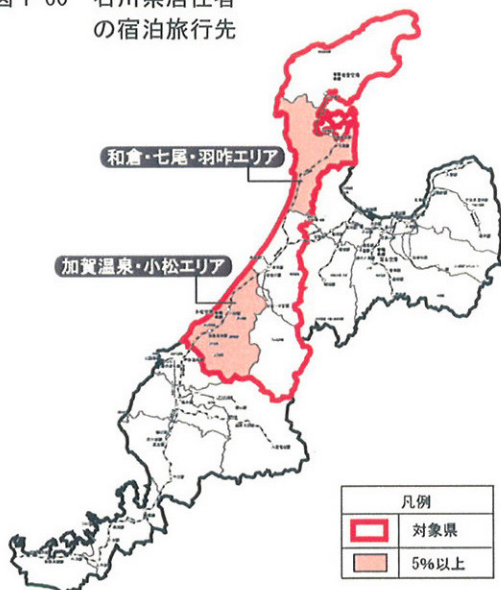
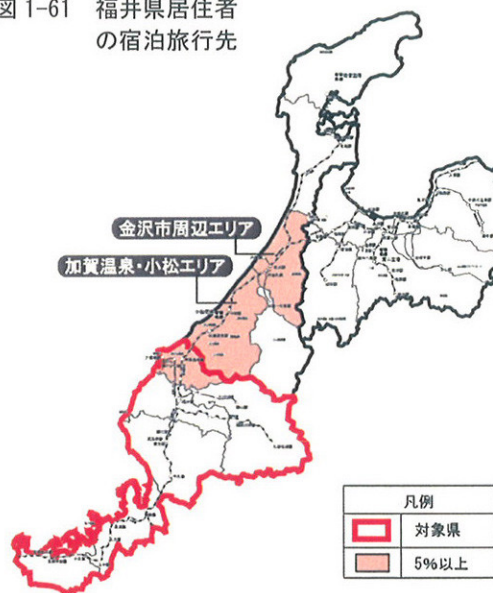


図 1-61 福井県居住者
の宿泊旅行先



(5) 北陸圏内の人的交流の実態〔観光等の日帰り旅行〕(アンケート調査より)

北陸の居住者が、北陸に日帰り観光旅行に出かける回数は、年間 5.9 回

- ・北陸の居住者が、北陸に日帰り観光旅行に出かける回数は年間 5.9 回であり、平均すると 2 ヶ月に 1 度のペースで出かけている。(図 1-62)

目的地は、金沢市周辺エリア、加賀温泉・小松エリアが多い

- ・北陸圏域内への日帰り旅行の行き先は、金沢市周辺エリアが 24% と多く、次いで加賀温泉・小松エリアが 13% である。(図 1-63)
- ・居住地によって訪れる地域に差があるが、金沢市周辺エリアはいずれの居住地においても最も多い。(図 1-64 ~ 66)

交通手段は車が 83% と多く、次いで J R ・鉄道が 11% である

- ・交通手段は車が 83% と圧倒的に多く、次いで J R ・鉄道が 11% である。(図 1-67)
- ・高岡・氷見エリア、金沢市周辺エリアでは、J R ・鉄道が 18% であり、他の目的地と比べて高い割合である。(図 1-67)

旅行先への満足度は 75% と高く、風景鑑賞、季節の花の鑑賞、名所・旧跡等の目的が多い

- ・旅行先への満足度は 70% を超える場所が多く、満足度は高い。(表 1-4)
- ・宿泊旅行では温泉が多かったが、日帰りでは風景鑑賞、季節の花の鑑賞、名所・旧跡を見るなどの目的が多くなる。(表 1-4)

訪れて欲しいと思う場所は、金沢、立山、東尋坊・三国

- ・北陸以外の方に訪れて欲しいと思う場所は、金沢を挙げる人が多く、兼六園、近江町、茶屋街、21 世紀美術館など、内容が多様である。
- ・立山、東尋坊・三国を挙げる人が次いで多い。(表 1-5)

図 1-62 北陸の人が北陸圏内に日帰り旅行に行く回数(年間)

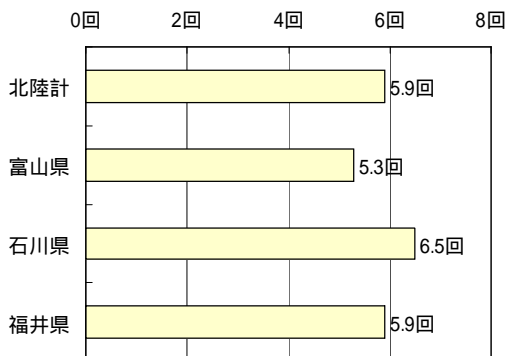


図 1-63 最も最近の北陸への日帰り旅行で訪れた場所(上位 10 地域)

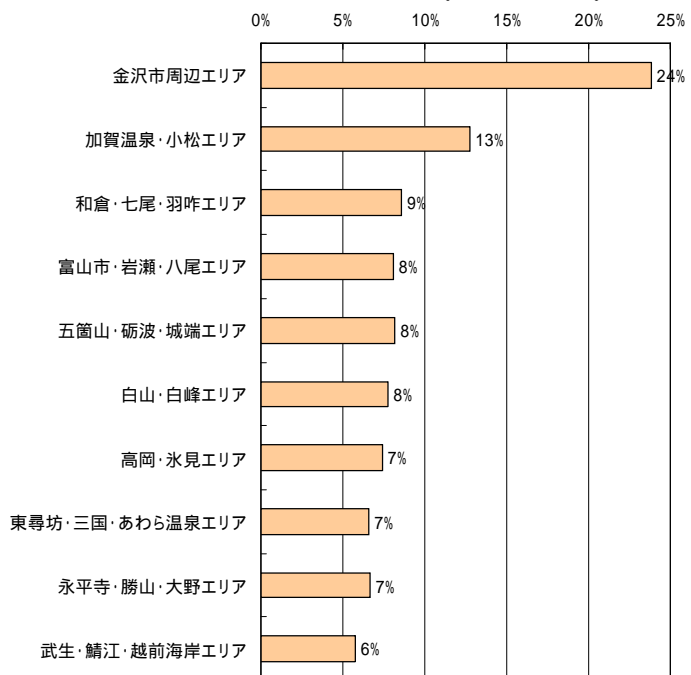


図 1-64 富山県の居住者が日帰りで行く地域

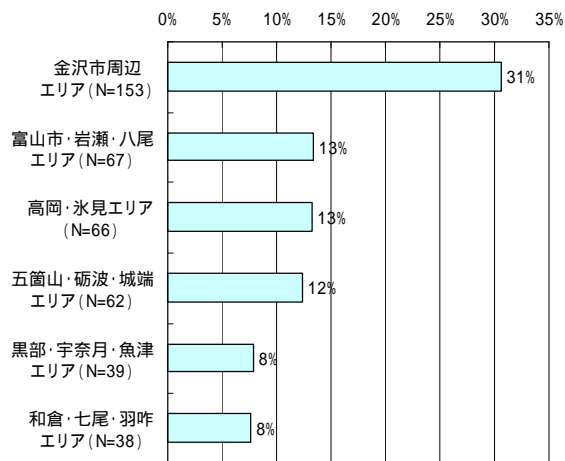


図 1-65 石川県の居住者が日帰りで行く地域

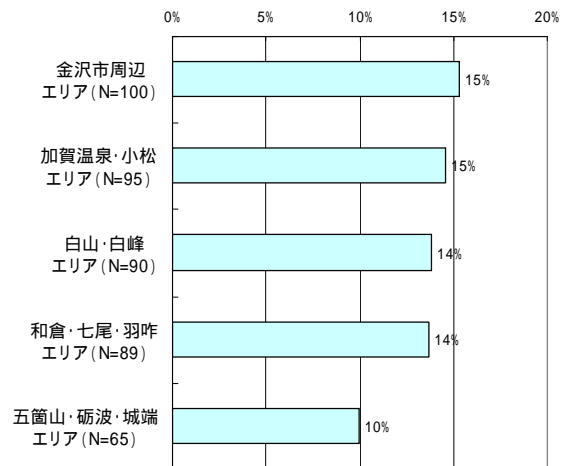


図 1-66 福井県の居住者が日帰りで行く地域

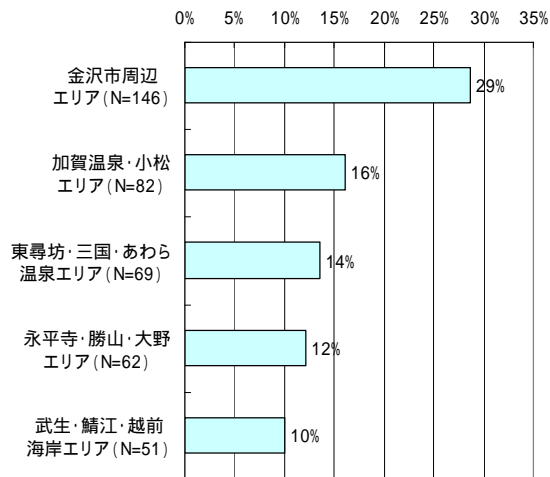


図 1-67 主な目的地別の代表交通手段

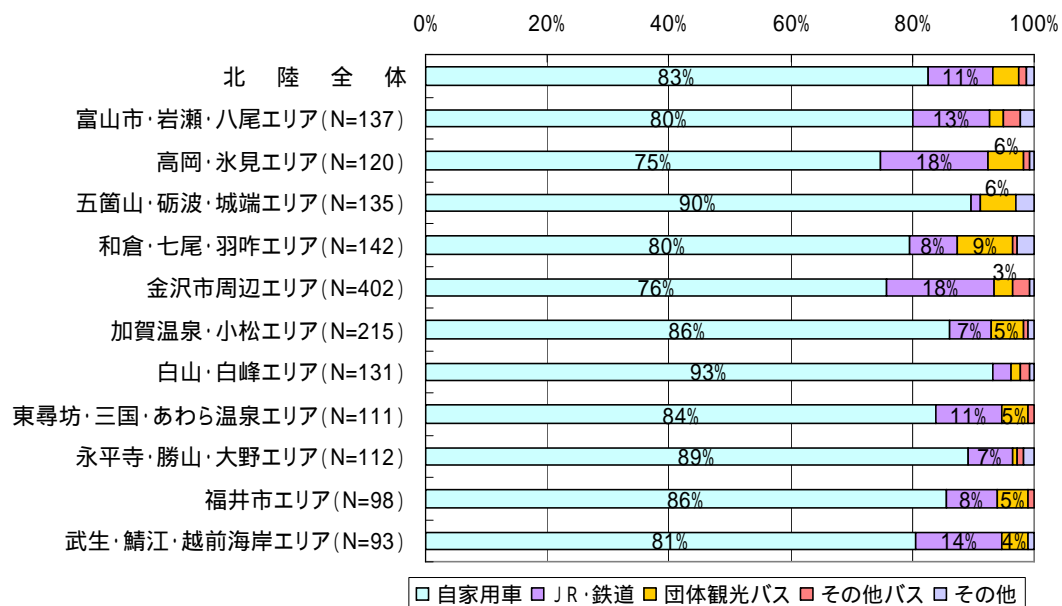


表 1-4 主な目的地の満足度・行動内容（日帰り・上位3つ）

エリア名	満足度 満足+やや満足	行動内容					
		1位		2位		3位	
		内容	割合	内容	割合	内容	割合
北陸全体	75%	風景鑑賞	35%	季節の花紅葉を見る	33%	名所・旧跡を見る	33%
富山市・岩瀬・八尾エリア（N=137）	73%	風景鑑賞	32%	温泉	32%	季節の花紅葉を見る	30%
高岡・氷見エリア（N=120）	75%	風景鑑賞	38%	温泉	36%	名所・旧跡を見る	35%
五箇山・砺波・城端エリア（N=135）	80%	風景鑑賞	49%	季節の花紅葉を見る	44%	温泉	39%
和倉・七尾・羽咋エリア（N=142）	78%	温泉	32%	風景鑑賞	31%	動物園	28%
						水族館見学 特産品の 買い物・飲食	28%
金沢市周辺エリア（N=402）	72%	美術館・博物館見学	37%	名所・旧跡を見る	30%	まち並み散策	29%
加賀温泉・小松エリア（N=215）	72%	温泉	39%	風景鑑賞	28%	名所・旧跡を見る	28%
白山・白峰エリア（N=131）	77%	季節の花紅葉を見る	50%	風景鑑賞	40%	名所・旧跡を見る	33%
東尋坊・三国・あわら温泉エリア（N=111）	69%	風景鑑賞	41%	名所・旧跡を見る	41%	温泉	34%
永平寺・勝山・大野エリア（N=112）	82%	季節の花紅葉を見る	44%	風景鑑賞	41%	名所・旧跡を見る	36%
福井市エリア（N=98）	67%	名所・旧跡を見る	31%	風景鑑賞	28%	季節の花紅葉を見る	27%
武生・鯖江・越前海岸エリア（N=93）	74%	季節の花紅葉を見る	49%	名所・旧跡を見る	34%	風景鑑賞	32%

表 1-5 北陸三県以外の方に訪れてもらいたい観光スポット

順位	地域	場所	理由
1位	金沢	金沢全体	まちなみ／文化／歩いて観光できる／食事が美味しい
		兼六園・金沢城	名所／四季の美しさ
		茶屋街	まちなみ／文化／飲食店、お店が多い
		近江町市場	魚介類が美味しい／お店の人とのコミュニケーション
		21世紀美術館	子供から大人まで楽しめる／行くたびに違う展示
2位	立山	立山連峰	自然の雄大さ／景観・眺望
		アルペンルート	子供から大人まで楽しめる／雪の大谷
3位	東尋坊	東尋坊	自然の壮大さ／景色のよさ
	三国	三国	まちなみ／カニ

(6) 北陸の認知度

北陸の県単位の認知度は低い

- ・ブランド知覚指数では、石川県が 20 位、富山県が 27 位、福井県が 38 位であり県単位のブランド力は低い。都市では金沢市が 9 位とブランド力が高い。(表 1-2)
- ・観光に行きたいと思わない理由では、よく知らない、関心がないが多く、認知度の低さが交流人口伸び悩みの原因の一つになっている。(図 1-68)

北陸のイメージが希薄であるが、「美しい」というイメージが比較的強い

- ・全国の他圏域との比較では、美しい景観(6位、29.6%)、歴史・文化(5位、27.9%)、暮らしやすさ(9位、10.3%)、癒し(6位、12.6%)であり、特別強いイメージが無い。(図 1-69)
- ・北陸全体に対するイメージとしては「美しい」が多く選ばれている。(48%)
- ・北陸から連想することは、伝統工芸(74%)や、雪に閉ざされた生活(56%)の割合が高い。(図 1-70)

行ってみたい地域として選ばれている

- ・1泊2日程度の観光で行きたい圏域では、中部圏、近畿圏で1位に選ばれ、首都圏、東北圏で3位に選ばれるなど行ってみたい圏域として認識されている。(表 1-7)
- ・求める内容は、美味しい食、温泉、自然・景観である。(表 1-8)

表 1-6 地域ブランド知覚指数ランキング

【都道府県名】

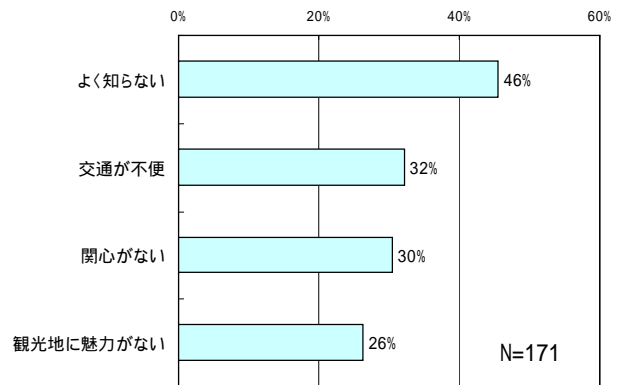
順位	地域名	順位	地域名
1	北海道	25	秋田県
2	京都府	26	三重県
3	沖縄県	27	富山県
4	東京都	28	岩手県
5	大阪府	29	愛媛県
6	兵庫県	29	香川県
7	神奈川県	29	滋賀県
8	鹿児島県	32	高知県
9	福岡県	32	山形県
10	長野県	34	大分県
11	奈良県	35	岡山県
12	愛知県	36	岐阜県
13	静岡県	37	山口県
14	長崎県	38	福井県
15	宮崎県	39	鳥取県
16	広島県	40	福島県
17	青森県	41	佐賀県
18	千葉県	42	徳島県
19	新潟県	43	埼玉県
20	石川県	44	島根県
21	熊本県	45	茨城県
22	宮城県	46	栃木県
23	和歌山県	47	群馬県
24	山梨県		

【都市名】

順位	地域名
1	京都市
2	神戸市
3	横浜市
4	札幌市
5	鎌倉市
6	函館市
7	奈良市
8	名古屋市
9	金沢市
10	富良野市
・	
・	
26	輪島市
34	加賀市
・	
・	
76	富山市
86	黒部市

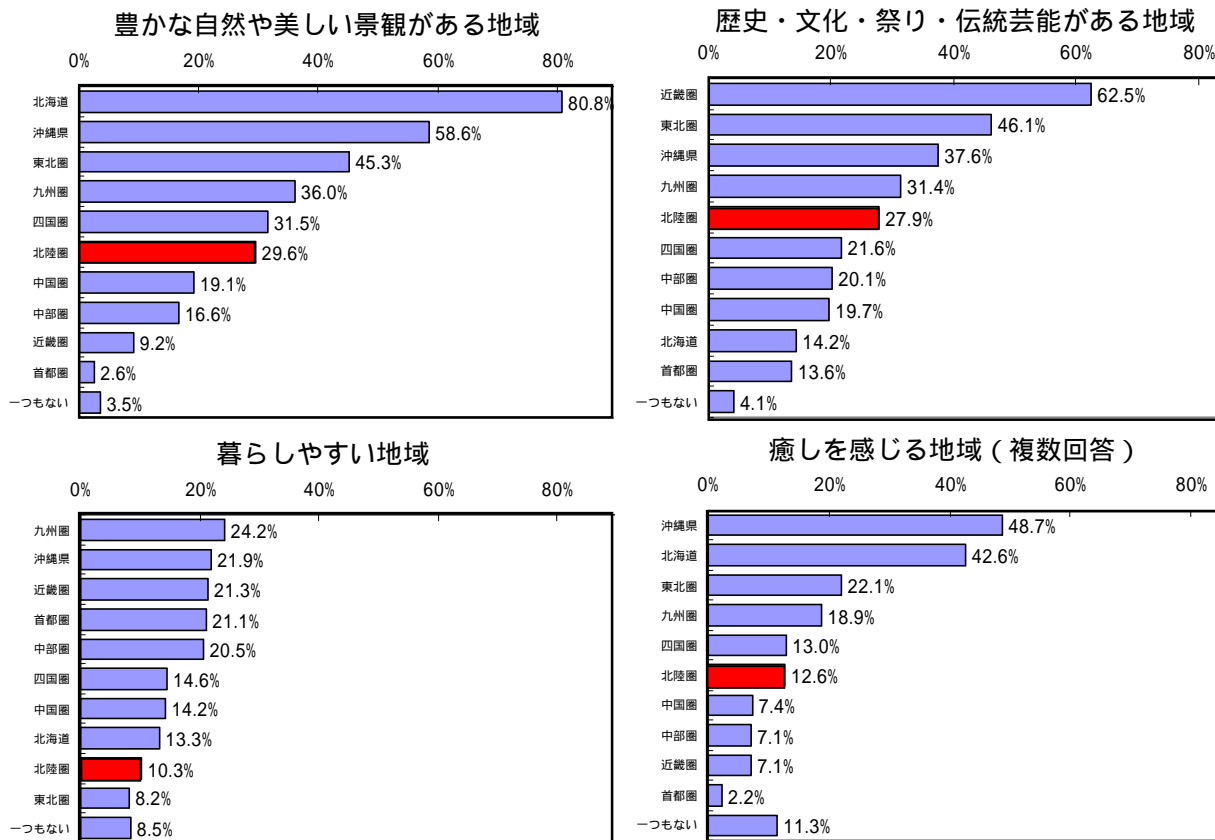
出所：地域ブランド戦略サーベイ(2008)
株式会社日経リサーチ

図 1-68 北陸に観光に行きたいと思わない理由



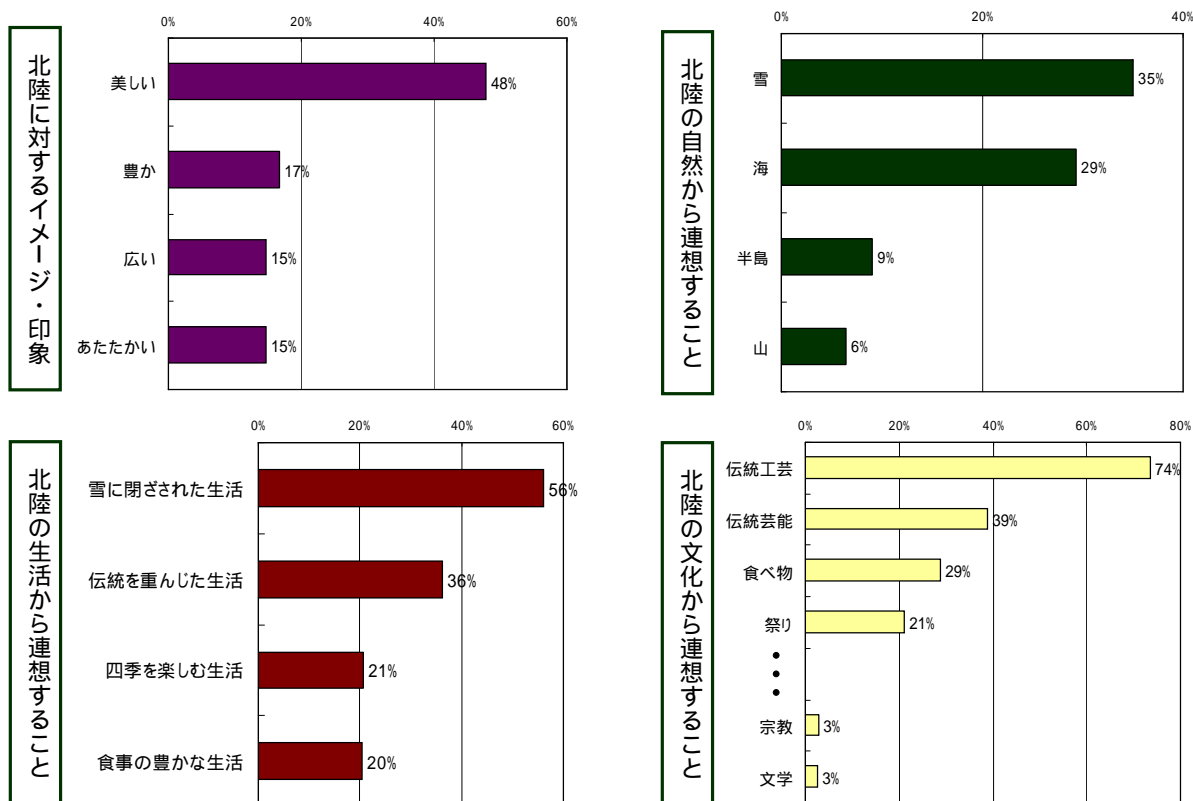
出所：『平成 19 年度広域地方計画の各圏域について他圏域から見たイメージ等に関する調査』国土交通省

図 1-69 各圏域に対するイメージ



出所：『平成 19 年度広域地方計画の各圏域について他圏域から見たイメージ等に関する調査』国土交通省

図 1-70 北陸に対するイメージ



出所：平成 18 年北陸のイメージに関するアンケート調査結果（北陸イメージアップ推進会議）

表 1-7 観光で最も行きたい圏域・上位 3 位 1泊2日程度の観光(居住圏域別)

(%)

訪問先 居住圏域	自 圏 域	他圏域 上位3位		
		1 位	2 位	3 位
北海道	44.6	首都圏 22.7	東北圏 12.7	近畿圏 5.4
東北圏	37.1	首都圏 31.5	北海道 10.5	北陸圏 8.6
首都圏	28.2	近畿圏 17.4	東北圏 14.5	北陸圏 13.2
北陸圏	11.6	近畿圏 31.4	首都圏 22.9	中部圏 16.7
中部圏	18.1	北陸圏・近畿圏 23.8		首都圏 17.9
近畿圏	20.2	北陸圏 21.5	首都圏 12.6	中部圏 12.0
中国圏	7.8	近畿圏 26.2	九州圏 20.5	四国圏 14.8
四国圏	7.4	近畿圏 33.6	九州圏 16.0	首都圏 13.2
九州圏	42.0	首都圏 15.0	沖縄県 10.2	近畿圏 9.2
沖縄県	11.8	九州圏 28.7	首都圏 21.5	近畿圏 11.6

表 1-8 観光地に求める内容 1泊2日程度の観光(訪問希望先圏域別)

(%)

	回答者数 (人)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.
		観 豊 かな 自然 や美 しい 景	歴 史 や 文化、 伝 統 芸 能	ン 都 グ 市 型 観 光、 シ ョ ッ ピ	温 泉 ・ 湯 治 等 の 保 養	お い し い 食 べ 物	工 芸 品 づ く り 等 (農 作 業、)	シ ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー	そ の 他	一 つ も な い
全 体	3,808	38.0	24.1	35.8	53.8	64.4	5.9	9.2	3.0	0.6
北海道	347	55.6	12.1	15.3	59.4	62.0	6.1	6.3	2.0	1.7
東北圏	318	59.4	27.7	11.0	74.5	66.0	5.3	5.3	0.3	0.3
首都圏	751	11.7	9.5	80.0	26.5	56.6	4.8	14.2	5.7	0.4
北陸圏	386	50.3	30.6	16.6	71.5	73.6	5.4	4.9	0.8	0.5
中部圏	273	46.5	21.6	26.7	69.6	62.3	7.7	10.3	2.6	0.4
近畿圏	704	23.2	44.5	46.3	41.6	64.3	6.3	9.7	3.3	0.3
中国圏	154	44.8	34.4	22.7	68.8	72.1	7.1	4.5	2.6	-
四国圏	185	54.1	24.3	15.1	65.4	65.4	7.0	8.6	3.8	-
九州圏	461	41.0	19.1	21.0	74.4	70.1	6.1	5.4	2.6	0.2
沖縄県	193	65.8	18.1	19.2	32.1	61.1	6.7	19.2	3.6	1.6
一つもない	36	22.2	13.9	41.7	38.9	58.3	-	11.1	2.8	8.3

1 位白抜き文字、2 位濃い網掛け、3 位薄い網掛け



出所 『平成 19 年度広域地方計画の各圏域について他圏域から見たイメージ等に関する調査』国土交通省
広域ブロックから各 400、計 4000 サンプル